

12/16 世界に羽ばたけ！
～MOA美術館おたわら児童作品展表彰式～



この作品展は、本市の名誉市民であり人間国宝である藤沼昇氏の「子どもたちに世界に羽ばたいてほしい」という強い思いのもと平成25年度から開催しています。今年度は市内18の小学校から645点の応募があり、市民交流センターにて入賞作品18点の表彰式を行いました。

12/22 大会結果報告
～グラウンド・ゴルフ大会成績報告～



昨年秋に愛媛県で開催された、全国ねりんピック交流大会において優勝された渡辺 節子 選手をはじめ、関東地区神奈川大会準優勝の菅谷 京子 選手、北関東交流栃木大会優勝の阿久津 大次郎 選手が市長を訪れ、大会成績を報告しました。今年もグラウンド・ゴルフ愛好者の益々のご活躍を期待しています。

1/10 伝統技法で仕事始め
～大田原太子祭開催～



建設業者の仕事初めで、新春恒例の「太子祭」が大田原神社の境内で開催されました。建設業に関係のある職人たちが烏帽子・狩衣の装束を身にまとい、鋸・手斧などの道具を使って伝統の建築技術を披露し、一年間の無事と商売繁盛を祈願しました。

12/13 文部科学大臣賞を受賞の快挙！
～第57回中学生の「税についての作文」コンクール～



中学生の「税についての作文」コンクールにおいて黒羽中学校3年渡邊 千采 さんが日本全国445,945件の応募の中から文部科学大臣賞を受賞しました。伝統文化や観光資源の保護・育成に税金が使われていることを作文にまとめたもので、大臣賞を受賞したのは大田原税務署管内では初めてでした。

12/21 卓越した技能を称えて
～技能奨励賞授与式～



技能奨励賞授与式は、職業能力開発促進法に基づく国家検定である技能検定試験において、1級および単一等級に合格された方々の卓越した技能を称え、実施しています。今回は18名(出席者9名)の合格者が受賞し、受賞されました方々におかれましては、習得された技術の練磨とさらなるご活躍が期待されます。

12/24 プロ野球選手を目指して
～真中 満氏による野球教室開催～



八溝山周辺地域定住自立圏構成市町の小学生チームを対象に元東京ヤクルトスワローズ監督の真中 満氏による野球教室が行われました。13チーム約70名の選手が集まり、楽しく汗を流しました。真中氏と小学生による1打席勝負では、真中氏のバッティングをみた小学生から歓声が上がっていました。

みんなのひろば



黒羽餅つき唄保存会

黒羽餅つき唄保存会では、北滝地区で唄い伝えられている餅つき唄を地域のお祭りや子どもたちの前で披露し、保存する活動を行っています。

昨年は11月に黒羽幼稚園、12月にはくろばね保育園で餅つき唄を披露し、年長クラスの子どもたちと餅つきを楽しみました。

問 文化振興課 TEL 0287(23)3135



『白鳥の楽園』

投稿者：呑気者（薄葉）

琵琶池の夕日に照らされる中で憩っている白鳥たちの写真に、羽田沼で空高く飛翔している2羽の白鳥と水面を飛翔している2羽の白鳥の写真を貼り合わせました。



市史編さんだより vol.40

現代部会調査速報⑪
～龍城公園展望台～

2月に入り、今年の桜の開花が待ち遠しくなりました。桜で思い出すのは、市内の桜の名所のひとつ「龍城公園」内の広場に立っていた展望台の姿です。今回の現代部会速報では、今はなき、この展望台を取り上げます。町村合併後の昭和30年代の大田原市の観光事業は、観光資源に乏しく、誘客が課題となっていたため、従来からあった公園の整備、史跡の保存などを進めて誘客につなげようとしており、そのひとつに龍城公園の展望台建設がありました。

展望台は、昭和36年(1961)10月から工事が始まり翌年に完成。その年の4月7日から11日まで行われた「さくら祭」では、仮装行列などの行事と一緒に、展望台完成祝賀が行われました。高さ16メートルの展望台は、当時誰でも上ることができる市内で最も高い施設で、大田原城址にあったことから、ここから市街地を一望すると、当時のお殿様気分になります。ふと足元を見ると、手すりの間からすぐ下に広場が迫っているのに気づき、ワクワクヒヤヒヤしたものでした。

建設から24年後の昭和60年(1985)、多くの市民を楽しませてくれた展望台は、その使命を終え、ひっそりと姿を消していきました。

(現代部会 木下 義文)



龍城公園に立つ展望台を西側から撮影(左:昭和40年 右:昭和43年)

取り壊し前の展望台(昭和60年)

問 文化振興課 TEL 0287(47)5031